

プロジェクト名	私の宝もの
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2、 「リスニングとスピーキング」 A2
期間	授業の後半 30 分～45 分を 2 回+2 週間後に提出する宿題
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（夏休み以降の秋に実施）
計立案 <small>（課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン例）</small>	<p>課題 : 自分の宝もの（＝自分が大事にしているものならペット等も可）の写真を投稿し、その簡潔な定義、それを手に入れた経緯、なぜそれが自分にとって大切なのかをそれぞれ記述する。</p> <p>目的 : 1) 目の前の対象がなんであるかについて記述できるようになる。2) 目の前の対象がどのような性質を持っているかについて、とくにその物理的性質を記述できるようになる。3) finden を用いて目の前の対象についての主観的な価値判断を表現できるようになる。4) 理由や根拠について述べられるようになる。5) 新出語彙の発音を自分の力で調べ、発音できるようになる。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生： スマートフォン、ボイスメモ（iPhone）かボイスレコーダー（Android）、IC レコーダー、読み上げ機能のある各種ソフトウェア（Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3）、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、各種学習管理システム（FLIPGRID, Facebook, Bb9, moodle 等）。</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えるれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、SNS を限定公開モードで使う。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備： 1) 物理的な記述に必要な基本的形容詞を一定数扱っておく、3) 主観的な価値判断に必要な形容詞を、動詞 finden と共に使う形で、一定数扱っておく（これらの活動に役立つようなワークシートは、iSLCOLLECTIVE 等の教員用教材共有サイトをさがせば見つけれられる。また、インターネット上の女性ファッション誌の画像や広告画像の顔写真から</p>

取ったり、あるいは、Google の画像検索で Mensch/ Mann/ Frau/ Kind/ Landschaft などの名詞の前にいろいろな形容詞をつけて画像検索したりする方法でも事前練習に役立ちそうな画像は得られる。)

① 第1週: PowerPoint プレゼンテーションの形式で、または実際に現物を見せながら、教員自身が、自分の「宝もの」を説明する。ただしその場合は、一方的に説明するのではなく、Was ist das? / Wie findest du ?などと、その記述や価値判断についての質問をクラス全体にそのつど投げかけながら、双方向的な対話を意識しながら紹介していく。

② その後、課題を説明する。個人作業で自分の宝もの写真を投稿し、1) それは何であるか、2) どのようにしてそれを手に入れたか(買った、見つけた、採取した、もらった、交換した、作った等)の経緯、3) それをどう思うか、またなぜそれが自分にとって大切なのかをそれぞれ記述し、全体として150字程度の文章を書くように指示する。おそらく時間内には書けないので、残りは宿題とする。

③ 作文の際には、原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次の原則を守らせる。

- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付けさせる。
- ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして Google 検索を行い、実際の使用例があるかを確認してから使う。

④ 第2週: 学生は、4人～6人のグループ作業で、宿題として書いてきた説明文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。

⑤ 直した作品は、LMS の Forum ページに投稿する。次の課題として、投稿された他人の文を読んで、共感した作品の投稿者2人に対し、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。あるいは、自分にはこんな物があるよという形で自分の撮った画像も適宜投稿する。自分の投稿に対して書き込まれたコメントや質問には、必ず再コメントやその質問への答を書く。

⑥ 教員は、音声読み上げソフトの使い方を実際にデモしながら、学生に使わせ、自分達の書いた作文のドイツ語模範音声を聞かせる。その際、日本語の名前や表現は、あらかじめ、同種のドイツ語表現に変えておくこと全体をなめらかに読見上げてくれるなどの裏技も教えておく。

⑦ 最後に「私の宝もの」と題した LMS のページにテキストと音声の両方を投稿させる。

ポイント

- 1) 自分にとってそれが何故大切なのが、読み手に伝わるように書くことの重要性を強調する必要がある。
 - 2) 「宝ものの」写真を撮るとき、自分で持てるものなら、顔が写らないよう注意しつつも、実際に手に持って撮った方が、作者との個人的な結びつきを出せる。
 - 3) 録音の際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。
 - 4) 音声の録音方法や投稿の仕方などについては、あらかじめ簡単なマニュアルを作っておく方が、細かなミスによって生じかねない余分な労力を省ける。
- 註：このテーマは、筆者が10年以上前にある英語教育系のワークショップで教えてもらったものだが、作文プロジェクトとしては「古典」に属する人気テーマのようである。